

なんケア通信

第53回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました

開催日時：令和8年4月3日(金) 18:00~19:00

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：43名(介護支援事業所関係者21名、医療関係者19名
調剤薬局1名、地域包括支援センター1名、訪問マッサージ1名)

演題

『在宅緩和ケア ～看取りまで～』 秋田往診クリニック 理事長 市原 利晃先生

秋田往診クリニック理事長の市原利晃先生より、訪問診療、緩和ケア、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)、在宅医療についてご講演して頂きました。

在宅医療は患者の生活を医療的に支援し、住み慣れた環境で日常生活を維持できるようにするものです。

在宅での緩和ケアは最後までその人らしさを尊重して支えることを基本としています。

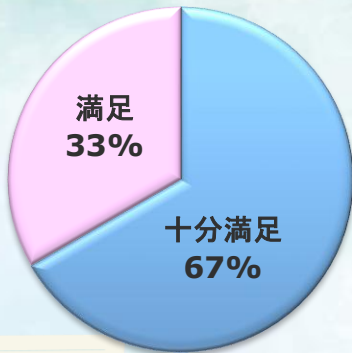
生きている時間限られているとしたら、大切なことは何か、自分が望む人生の最終段階における医療・ケアについて家族・医療ケアチームを話し合い共有しておくことが大切です。

医療・介護従事者は、患者さんが望む場所で希望する療養が行えるよう、在宅ケアを支援できるようにしたいと思いました。

アンケート結果

回収率：90.6%(アンケート配布：43名、回収：39名)

1.なんケアの会に参加して
いかがでしたか？



2.今後、地域での活動に活かす
ことができそうですか？

部分的に活か
すことができ
ると思う
5%



会場の様子

講師の市原先生↓



興味深い内容に、
参加者は熱心に
耳を傾けておりました↓



皆様からの ご意見・ご感想

ご自宅で看取りを希望されたご家族から、感謝の言葉が多く、満足されていました。治療の方針等ていねいに説明して下さい、ご本人も安心していました。患者さんを人として対応している姿、福祉の仕事をしている者として大変勉強になりました。

(介護支援事業所関係者)

市原先生の在宅医療にける思いや、これまでの経験からなぜ在宅医療に携わるようになったかを知ることができてよかった。秋田にこんなに熱い思いを持った先生がいてくれてよかった。自分も頑張ろうと思った。

(医療機関関係者)

次回開催の お知らせ

開催日時：令和8年6月5日(金) 18:00~19:15
会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」